

大学教育再生加速プログラムテーマⅢ～高大接続～

日英中トライリンガルの育成のための高大接続

杏林大学

高大接続推進室室長 稲垣大輔

1 事業の概要

本事業は「日英中トライリンガル育成のための高大接続」を目指すものである。外国語学部が中心となって全学的に展開してきた「グローバル人材育成推進事業」（のち「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」、文部科学省、平成24年度採択）の取り組みを高等学校へ積極的に開放することで、本学のグローバル人材育成が拠って立つ認識を高校生にも普及し、留学の早期化・長期化・複数化への意識を積極的に醸成しながら、グローバル人材になる志を持った若者の成長を促進していく。

① アドバンストプレイスメント

2017年度から大学の正規科目で高校生の履修を受け入れ、修了した場合、入学後にその単位を認定する「アドバンストプレイスメント（AP）」を実施。通常の正規科目では高校生が大学まで来校しにくい状況に鑑み、夏休みに夏期集中科目を開講し、多くの高校生に受講の機会を与えている。また、桜美林大学、創価大学、共愛学園前橋国際大学の3校と単位互換協定を締結し、APで取得した単位を協定校ならどこでも認定してもらえる環境を整えた。

② ルーブリック

高校生がどのように成長したのかを評価するためのルーブリックを作成。これは、学力の3要素の一つである「主体性を持ち多様な人々と協働し学習する態度」を評価するもの。自らの多面的能力を高校時代に力を注いだ経験に照らして評価する。さらに言語運用能力も独自に設定した能力指標を基準に、5段階で自己評価させる。現在、このルーブリックを外国語学部のAO入試の選考で活用している。

③ 日英中の学習イベント

一例として、提携高校の高校生、杏林大学の在学生、留学生らが参加する「日英中トライリンガルキャンプ」（一泊二日）を毎年3月に、多摩永山情報教育センターで実施している。英語圏、中国圏留学経験者や中国からの留学生で組織するピアチューターとの協働により、英語、中国語によるプレゼンテーション大会を行い、英語、中国語を学ぶことの重要性を認識するとともに、異文化理解を深めることを目標に掲げている。

④ ライティングセンター

本学のグローバル教育の拠点の一つで、学生は、特任講師や学生ピアチューターから英語の文章作成の添削指導等を受けることが出来る。また、高校生向けに定期的にライティングセミナーを開催しており、直接ライティングに関する指導、アドバイスを受けながら、大学の学びを体験することが出来る。

⑤ 杏林APラウンドテーブル

グローバル人材育成に力を入れる高校と大学の教職員が一堂に会し、互いの教育目標、教育内容、教育方法等について話し合う場を年2回設けている。当初、4高校参加でスタートしたが、現在では約20高校の校長、副校長、進路指導担当教員らが参加している。

2 運営母体

本事業採択直後より、学内に学長を委員長とするAP推進委員会を組織し、隔月で委員会を開催しており、その下部組織である高大接続推進委員会が具体的事業実施主体として運営を司っている。またその事務局として高大接続推進室が存在している。